

4つの4

| | | | |
|-------|--|------|-----|
| 単 元 | 式と計算の順じょ | 対象学年 | 4 年 |
| ね ら い | 計算のきまりを使って，計算の仕方を工夫して考え，いろいろな式に表すことができる。 | | |

1 準備するもの

教師：タブレット端末（スクールタクト）

児童：タブレット端末（スクールタクト）

2 学習のしかた

- (1) $4 \ 4 \ 4 \ 4 = \square$ （ \square には，0から10の数を当てはめる）の式を児童に示す。＋，－， \times ， \div ，（ ）のいずれかを用いて，式を完成させることを伝える。
- (2) 個人で解く。
- (3) チームで解く。

3 学習上の留意点

- ・前時で，教科書（p.135）の例題を解いておく。
- ・頭で考えるのではなく，ペンで書いて試行錯誤するように促す。
- ・思考が止まっている児童には，黒板にヒント（例えば，「1」を作るとか，和差積商のどれを使うかなど）を提示する。
- ・チームで行っている際は，チーム内でできている児童を把握する。困っている児童に分かりやすく説明している児童を称賛する。
- ・チームで競い合う際は，どのチームがいくつ完成しているのかを，全体で逐一伝えることで学習意欲を高める。

4 学習の効果

- ・計算のきまりを正しく理解している児童にとっては，いろいろな答えがあることや，ひらめいたときの気持ちよさから，学習を楽しむことができた。
- ・チーム同士で競い合うことによって，解決しようと一生懸命に計算の工夫をする児童が多かった。
- ・4つの4以外にも，数を変えたりしたらどうなるかを，発展的に考える児童を育てていきたい。

5 参考資料

| | |
|----------------|---------------------|
| $4-4\div4-4=0$ | $4\times4\div4-4=0$ |
| $4-4+4-4=0$ | $4-4+4-4=0$ |



| | |
|----------------------|----------------------|
| $4\div4\div4\div4=2$ | $4\div4\div4\div4=2$ |
| $4\div4+4\div4=2$ | $4\div4+4\div4=2$ |

